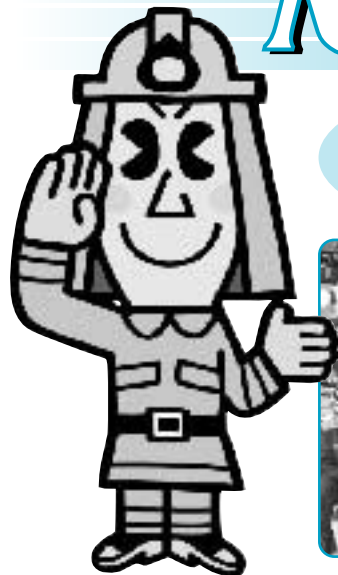


NEW FACE

本年度は8名が新規採用され、4月から半年間、益城町にある熊本県消防学校で消防に関する基礎訓練を受けています。期待のホープ達です！よろしくお祈りします！！



よろしく
お祈りします！



本年度は8名が新規採用され、4月から半年間、益城町にある熊本県消防学校で消防に関する基礎訓練を受けています。期待のホープ達です！よろしくお祈りします！！

【名前】 おさき しゅう 尾崎 翔 (荒尾市出身:21歳)

【趣味・特技】 陸上、サッカー
【消防官になろうと思ったきっかけ】 人を助ける仕事、人の為に働ける仕事をしたかったから。
【これからの抱負】 まだまだ半人前以下ですが、早く一人前になり、地元の為に貢献できるように日々努力していきます。

【名前】 にしじま たかし 西嶋 崇史 (荒尾市出身:20歳)

【趣味・特技】 バasketボール
【消防官になろうと思ったきっかけ】 幼い頃からの夢であり、人の役に立つ仕事があったから。
【これからの抱負】 少しでも早く一人前になり、地域住民の方から信頼される消防官になれるように頑張ります。

【名前】 ながの たかひろ 永野 貴裕 (和水町出身:26歳)

【趣味・特技】 野球、笑顔
【消防官になろうと思ったきっかけ】 学生時代に先輩の話聞いて。
【これからの抱負】 常に己自身を高め続け、冷静沈着・士気旺盛で住民の方に安心・安全を与えられるプロの消防官になりたいです。

【名前】 ふかうら こうじ 深浦 晃司 (和水町出身:25歳)

【趣味・特技】 ソフトボール、水泳
【消防官になろうと思ったきっかけ】 人の役に立てる仕事で、地元の方に最も身近な存在である仕事があったから。
【これからの抱負】 住民の方々に対し、常に全力で最良の活動ができるよう、初心を忘れることなく、今という時間を大切に日々の訓練、教養に励みます。

【名前】 ほしだ こうたろう 星田 浩太郎 (荒尾市出身:19歳)

【趣味・特技】 アウトドア・自然・短距離走
【消防官になろうと思ったきっかけ】 幼い頃からオレンジ(救助隊)に憧れ、自分の手で命を救いたいと思ったから。
【これからの抱負】 「きつい、疲れた、もうだめだ、では人の命は救えない。」この言葉を胸にどんなにハードな訓練も「要救助者が自分を待っている」ということを頭に浮かべ歯を食いしばって日々精進していきます。

【名前】 たかき ゆういち 高木 裕一 (植木町出身:25歳)

【趣味・特技】 野球、ドライブ
【消防官になろうと思ったきっかけ】 以前消防団に入っていた頃、身を挺して活動する消防官の姿に感動し、自分も住民の安全を守りたいと思ったから。
【これからの抱負】 どんな状況でも諦めない、強い心を養い、住民の方が安心して暮らせる地域をつくり、守っていききたいと思います。

【名前】 りゅうの けんた 立野 健太 (玉名市横島町出身:19歳)

【趣味・特技】 ドライブ、Basketボール
【消防官になろうと思ったきっかけ】 幼い頃から憧れていたから。
【これからの抱負】 多くの知識や技術を身につけ、地域住民の方々から信頼される消防官になれるよう頑張ります。

【名前】 はまだ たくや 濱田 拓也 [救急救命士] (天草市出身:21歳)

【趣味・特技】 ソフトテニス、釣り、料理
【消防官になろうと思ったきっかけ】 自分自身が交通事故に遭ったことで、救急救命士の存在を知り、自分も同じように尊い命を救いたいと思ったから。
【これからの抱負】 残りの学校生活を全力で取り組み、現場に帰ってから即戦力として活動できるように日々精進していきます。

どうやればもっと
安全にできるかな...?

1秒でも早く!!

《項目別状況》

※平成18年度(基準年度)比較

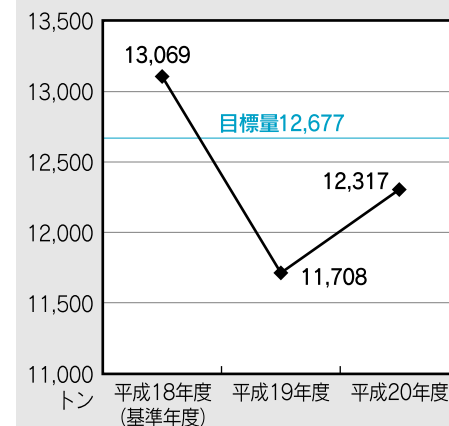
温室効果ガス排出項目	増減量	増減率
ガソリン L	1,010 減少	2.0%
灯油 L	57,007 増加	8.4%
軽油 L	1,787 減少	6.2%
A重油 L	46,235 増加	14.2%
LPG kg	221 増加	4.3%
電気 kwh	50,416 減少	0.5%
廃プラスチック類 トン	1,322 減少	23.8%
自動車走行 km	20,351 減少	5.2%
廃棄物焼却 トン	814 減少	3.4%
し尿処理 m³	1,035 減少	2.8%
省資源・リサイクル項目	増減量	増減率
用紙 [A4換算] 枚	243,232 減少	30.0%
水 m³	5,914 減少	6.7%
廃棄物 kg	1,589 減少	15.8%

※数値は四捨五入しています。

【2023年度から始めるよう】
日本人ひとり年間に出す温室効果ガスの排出量は、約10トン！温室効果ガスの大部分が二酸化炭素です。このうち約半分は家庭から排出されています。地球温暖化をストップさせるには、日常生活の中で省エネ、節電、節ガスを心がけることです。
例えば、車の使用を減らし、アイドリングもやめる、冷暖房をクールビズ・ウォームビズで調節する、使っていない電気製品のコンセントを抜く、いらぬものを買わない、ごみを分別やリサイクルで半減させる、これだけでも排出量削減にかなりの効果があります。今日からみなさんも始めてみましょう。

【2023年度から始めるよう】
また、救急車や消防車の出勤回数が増えたことにより、ガソリン・軽油の使用と走行量が抑えられ、結果として排出量を減少させることができました。緊急性のない救急車の要請は控えるようになりましょう。
ことにより、燃やしたときに出る二酸化炭素の減少が大きく、全体の排出量の削減目標を達成する結果となりました。これは、圏域住民のごみの分別・リサイクルへの関心が高まってきているためであると考えられます。

二酸化炭素(換算)排出量



《温室効果ガス(二酸化炭素換算)総排出量》

	基準年度(平成18年度)		平成20年度	
二酸化炭素(CO ₂)	12,583トン	96.28%	11,847トン	96.19%
メタン(CH ₄)	59トン	0.45%	57トン	0.46%
一酸化二窒素(N ₂ O)	427トン	3.27%	413トン	3.35%
総排出量	13,069トン	100%	12,317トン	100%
削減量			752トン	
削減率			5.75%	

ストップ・ザ・温暖化 第2期

《平成20年度地球温暖化対策取組結果》

【取組結果について】
当組合では、平成19年度から第2期の計画に入り、平成18年度を基準年度として平成23年度までに3%削減を目標として取り組んでいます。
排出量というものを平成18年度比で約752トン(5.7%)削減することができました。(下表左表を見て分かるように、東部環境センターとクリーンパークファイブのみ処理施設の《廃棄物焼却》に含まれる《廃プラスチック類》を削減(23.8%)できた